

国立大学法人山口大学
令和7年度 物品・役務等契約監視委員会議事概要

第1回 物品・役務等契約監視委員会

1. 開催日時 令和7年9月18日(木) 13:30 ~ 16:30
2. 開催場所 国立大学法人 山口大学 事務局2号館 第2会議室
3. 出席委員 福田進(常勤監事)、木村葉子(非常勤監事)、豊嶋和博(元山口県会計管理局長)
4. 議案1 審査対象案件の論点整理(協議事項)

第2回 物品・役務等契約監視委員会

1. 開催日時 令和7年9月19日(金) 13:30 ~ 17:10
2. 開催場所 国立大学法人 山口大学 事務局2号館 第2会議室
3. 出席委員 福田進(常勤監事)、木村葉子(非常勤監事)、豊嶋和博(元山口県会計管理局長)
4. 審査対象期間 令和6年4月 ~ 令和7年3月
5. 議案1 個別案件審査(審議事項)

一般競争入札(最低価格落札方式)	6件
一般競争入札(総合評価落札方式)	4件
随意契約(公募・企画競争)	1件
審査対象案件 計	11件

6. 議案2 個別案件審査(審議事項)
一般競争入札における一者応札 4者、15件
7. 議案3 一者応札・応募の改善に向けた方策の実施状況(審議事項)
8. 審査結果 【総評】

物品・役務等契約監視委員会は、物品・役務等契約監視委員会要項に従い、令和6年度の契約を対象に審査を実施しましたが、重要な点において、指摘すべき事項はありません。

物品・役務等契約監視委員会による意見

契約事務の実施状況に対しては、担当部門(財務部財務課)において、従前に比べ、より具体的な取組が行われていることを確認しており、その取組姿勢を評価しています。

また、一者応札・随意契約が大半を占める現状に対する「競争性確保からの課題」「改善対応の必要性」の認識は、当委員会としても共有するものです。

「一者応札・応募の改善に向けた方策の実施状況」に関しては、昨年度の委員会意見を受け止めた改善策の策定・実践など、着実な取組が見られるものの、成果の確認はこれからであり、継続的な取り組みを期待します。

一方で、個別案件の審査では、不備・課題等が認められることから、これらの改善に取り組むことが必要です。

以上

質問・意見等	回答
(1) ラックマウントサーバー及び周辺機器 一式 【一般競争入札】 (財務部契約課)	
<p>➤ 入札説明書は 6 者に交付しているにも関わらず、一者応札になったのはなぜか。</p> <p>➤ 意見招請を実施していれば、不調は回避できたのではないか。</p> <p>➤ 再入札でも一者応札だった理由について調査しているか。</p>	<p>➤ 辞退理由として、ソフトウェアのサポート体制ができない、あるいはクラウド案件しか扱っていない、といった回答があった。</p> <p>➤ 意見招請をしたから不調を回避できたかは明言できないが、現行では意見招請を行うよう改善している。</p> <p>➤ 入札説明書を取りに来た 6 者のうち、4 者から辞退があった。辞退理由として、年度末で作業員 (SE) の確保が難しいという回答が複数社からあった。納期を 121 日に確保し、多数の業者が応札できるよう見直しは行っている。</p>
(2) 就業管理システム 一式 【一般競争入札】 (財務部契約課)	
<p>➤ 市場調査を十分に行えば、仕様の要件を検討する余地があったのではないか。一者応札となった理由について調査したか。仕様策定時における市場調査をお願いしたい。</p>	<p>➤ 入札説明書を取りに来た 5 者のうち辞退 4 者の辞退理由として、仕様を満たすシステムの提案が難しいことや、納期に間に合わないことなどが挙げられた。かなりカスタマイズが必要という意見があった。</p>
(3) 基幹ネットワークシステム 一式 【一般競争契約】 (財務部契約課)	
<p>➤ 意見招請では多く意見が出たが、結果的に技術要件が反映されず、実質的な随意契約のように見えるがどうか。</p>	<p>➤ 実質的に特定したこととなった製品を取り扱う業者は、他の代理店もいるため、実質的な随意契約というわけではない。過去に他社が落札した事例もある。</p>
(4) インターネット出願及びインターネット入学手続システム並びに 入学検定料等収納代行決済業務 一式 【総合評価落札方式】 (財務部契約課)	
<p>➤ 1 回目の審査不合格を踏まえて、2 回目の入札ではどう対応したか。</p>	<p>➤ 1 回目の技術審査で不合格であった項目は見直しをし、必須要件から落としたり、総合評価の加点の方に振り替えたりしている。2 回目は 3 者応札となった。</p>

質問・意見等	回答
(5) 医療廃棄物収集運搬・処理業務 一式 【一般競争入札】	
(医学部管理運営課)	
<p>➤ 収集運搬と処分が法的に別契約となることは理解したが、なぜ一体で入札する必要があるのか。単価を見ると、別々に入札して組み合わせた方が総額で安くなるように見えるが、なぜ別々としなかったのか。</p>	<p>➤ 収集運搬と処分を別々に入札した場合、まず処分場所を決め、その後に運搬業者を入札する流れになる。県外の業者が処分業者になった場合、運搬距離が延びて運搬単価が高くなる可能性がある。運搬と処分を一体とし、総額で比較することで、大学にとって最も安い金額で契約したいという意図があった。</p>
(6) 国立大学法人山口大学医学部附属病院アメニティスペース整備・運営業務 【公募・企画競争】	
(医学部管理運営課)	
<p>➤ なぜ同一業者（既存2点、工学部、今回で計4点）ばかり落札し、他の業者が入札に参加しないのか調査をしているか。</p>	<p>➤ 他の業者に確認したところ、入札参加の業務が大きいための回答があった。説明会には他の業者も来たが、提案を出すつもりはないとの業者が多かった。</p>
(7) 一者応札について 【随意契約】	
(医学部管理運営課)	
<p>➤ 近隣病院の調達単価を比較するなど、懐疑心を持って検証すべきである。業者からの情報に依存せず、自ら市場調査を行い、裏付けのある要因を捉えてほしい。</p>	<p>➤ 他の大学とも情報交換をしながら、納入メーカーに対する卸問屋なども調査している段階であり、競争性を確保するための取り組みを行っている。</p>
(8) 山口大学工学部長用公用車 【一般競争入札】	
(工学部会計課)	
<p>➤ 仕様書の内容（車内寸法、重量、排気量が限定的）からすると、特定車種限定に見えるが、このクラスが必要なのか。</p>	<p>➤ 特定車種に限定したわけではない。長距離移動が多く、車内で打ち合わせをするため、車内の広さを担保したいというニーズがあった。また、昨年調達を始めた際、半導体不足により納車が未定の日本メーカー車が多かった。</p>
(9) 3地区清掃等業務 【一般競争入札等】	
(財務部契約課・医学部管理運営課・工学部会計課)	
<p>➤ 3地区の清掃等業務について、入札時期が概ね同じなのに、一般競争と総合評価が混在しており、連携されていないのはなぜか。</p>	<p>➤ 地区ごとに清掃の仕様が異なっており、病院などは価格も含めて重視する点異なるため、総合評価を採用している。吉田地区は過去に契約者の履行状況が芳しくなかったため、今年から総合評価に変えた。電気調達の際は3地区の契約部署が集まって情報交換を行ったが、清掃に</p>

質問・意見等	回答
	<p>については担当者レベルでの情報交換に留まっております、全契約部署が集まる場はなかった。</p> <p>➤</p>
<p>(10) 総括部署へのインタビュー（一者応札の改善に向けた取り組み）</p> <p style="text-align: right;">(財務部財務課)</p>	
<p>➤ 取組姿勢や具体的な対応は充実してきていると評価する。しかし、分析がまだ係数把握に留まっている部分がある。より具体的、客観的な要因分析を行い、要因に応じた対応策を策定して実践に繋げてほしい。</p>	<p>➤ 昨年度の指摘を受け、今年5月に財務部長通知が出され、改善に取り組んでいる。今後、契約担当部と連携し、係数だけでなく、なぜ業者が応札しなかったのかという背後にある深い分析にも踏み込んで取り組んでいきたい。</p>

以 上